

高尾霊園参拝の様子(浴風園)



## 夏季号

令和 8 年 7 月発行

【発行者】〒168-8510

東京都杉並区高井戸西 1-12-1

社会福祉法人 浴風会

【編集者】浴風会本部事務局

## 地域共生社会の実現・深化に向けて

厚生労働省 社会・援護局長 鹿沼均



日頃より、社会福祉の推進に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

浴風会は、大正14年に関東大震災により被災された高齢者の援護を目的として設立され、以降100年以上にもわたり、我が国の高齢者福祉を牽引する法人として、先駆的な活動を続けてこられました。時代とともに求められる支援の在り方も変化する中、絶えずニーズを汲み取り、医療・介護・福祉と幅広い分野で事業に取り組まれた皆様のたゆまぬ努力に対し、心から敬意を表します。

2040年には65歳以上の高齢者数がピークを迎えるとともに、介護と医療の複合ニーズを抱える85歳以上人口、認知症高齢者、独居の高齢者等の増加が見込まれ、介護ニーズは多様化・複雑化していきます。誰も取り残されることなく地域で支え合う社会を目指す地域

共生社会の理念を中心に据え、2040年に向けて、全ての市町村で、福祉分野を超えた連携や地域との協働を進め、包括的な支援体制の整備を通じた地域共生社会のさらなる実現・深化を行うことが求められています。

こうした状況を踏まえ、厚生労働省では、地域の実情に応じた包括的な支援体制の拡充、福祉人材の安定的な確保及び定着の支援、福祉サービスの提供基盤の強化等を図るため、今国会に「社会福祉法等の一部を改正する法律案」を提出したところであります。

本法案では、担い手不足が深刻化する小規模市町村における包括的な支援体制の整備を推進するため、分野横断的な相談支援等をより柔軟に実施可能とするとともに、頼れる身寄りがない高齢者等に対して、日常生活の支援、入院等の手続の支援、

死後事務の支援を提供する事業を第二種社会福祉事業に位置づけるなどの施策を盛り込んでいますが、いずれも、地域住民の多様な福祉ニーズに対応し、その抱える多様な地域生活課題の解決に資する支援を受けられるように包括的な支援体制を整備することを目的としています。

貴会におかれましては、高齢者等を支える地域包括ケアシステムの深化・推進のため、これまでの長い歴史の中で培われた知見と柔軟性を生かし、高齢者福祉のより一層の充実を図られるとともに、今後も地域における福祉の中核的存在として、地域共生社会の実現に寄与していただきますよう、期待しております。

結びに、浴風会のますますのご発展と、関係者皆様のご活躍を祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

# 令和7年度 事業報告(概要)

浴風会創立100周年を迎えるとともに、令和7年度から11年度を期間として策定した「第2期中期事業計画」の初年度に当たり、これからの100年に向けて事業展開を図ることとし、令和7年度事業計画においては、在宅医療体制の整備や地域サービス部門の強化・充実等による地域の福祉・医療ニーズへの対応、認知症の本人・家族等への良質かつ適切なサービス提供体制の充実強化等を推進する基本方針を定め、事業運営に取り組んだ。

利用者の新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染は、本年度も断続的に発生し、施設利用者数や入院患者数に影響を及ぼした。また、燃料費や食糧費をはじめとする物価高の影響のほか、施設設備の経年劣化への対応の影響、病院や老健くぬぎにおける借入金償還の開始の影響等によって法人財政は厳しい状況にあった。

こうした状況下において、各事業部門においては、目標利用率の達成や経費節減等に努力するとともに、国の緊急的な補助事業の積極的な活用等を行い、令和7年度の事業活動の収支はプラスを維持した。

**【創立100周年記念事業の実施】**

浴風会では、令和7年1月15日に創立100周年を迎えるに当たり、令和5年度から7年度にかけて、次のとおり創立100周年記念事業を実施した。

## 1 100周年記念誌の発行

令和7年4月10日に、記念誌「浴風会百年の歩み」を発行した。発行に当たって、憲仁親王妃久子殿下からのおこばを賜った。

また、福岡資麿厚生労働大臣、山口真東京都福祉局長、岸本聡子杉並区長からの祝辞をいただいた。

## 2 創立100周年記念事業式典の開催

令和7年4月24日に、当会のコミュニティホールにおいて、「創立100周年記念事業式典」を開催した。式典においては、憲仁親王妃久子殿下のご臨席を仰ぐとともに、お祝いのおこばを賜った。また、福岡資麿厚生労働大臣代理伊原和人厚生労働事務次官、小池百合子東京都知事、岸本聡子杉並区長にご出席いただき、祝辞をいただいた。



式典においては、浴風会に対するボランティア活動等様々なお力添えをいただいた28名の方々に感謝状の贈呈を行った。

## 3 創立100周年記念事業支援募金

令和5年12月15日から創立100周年記念事業支援募金を募集し、令和8年4月16日までの間に、277の個人・法人の方々から、合計19,565千円のご寄付をいただいた。当該寄付金については、地域の方々を含む多くの方々に還元できるよう、構内のベンチや礼拝堂内外の補修、中庭池の清掃等に活用するなど引き続き有効活用を行っている。活用状況については、順次当会ホームページにおいて公開している。

## 【重点事項】

1 着実な事業実施のための経営基盤づくり  
物価高騰等の厳しい社会経済情勢の中で、

財政の健全化に向け、各事業部門においては、目標利用率の達成や経費節減等に努力した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症等の感染が断続的に発生し、施設利用者数や入院患者数に影響を及ぼすとともに、物価の高騰、施設設備の経年劣化への対応、病院や老健くぬぎにおける借入金償還の影響等により法人財政は厳しい状況にあった。

年度末決算においては、各事業部門の積立金等の本部への移管を開始し、法人全体の経営基盤の強化・効率化を図ることとした。

## (1) 法人機能の充実

社会福祉法人制度改革を受けて、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、地域公益事業の積極的な展開等に取り組んだ。

ア 法人組織の活性化とコンプライアンスの徹底

経営企画会議、幹部連絡会議、部課長連絡会議等の諸会議を通じて、経営方針や業務における留意事項（個人情報保護等）等に関する共通認識化を図った。

また、事業本部（保健衛生業務調整、栄養業務調整、相談業務調整、リハビリテーション業務調整）の取組みにより、職種別に当該業務に関する連絡調整を図り、業務の円滑化、リスク管理に努めるなどとして、第一線の現場業務の質の向上に努めた。

イ 人材確保対策の推進（外国人・障害者雇用）

社会福祉士、介護福祉士等の養成を行う全国の大学、専門学校、高校に対して、パンフレット、求人票等を送付するとともに、実習生受入実績校へ訪問して学生紹介の依頼を行った。更に、ホームページ求人サイトからの採用募集や人材派遣会社の活用な

ど、継続的に採用活動を実施した。

外国人雇用については、関係団体とも調整して進めた結果、令和8年4月1日現在ミャンマー連邦共和国より33名、ベトナム社会主義共和国より3名、インドネシア共和国より3名の計39名を特定技能1号外国人として受入れ、介護老人福祉施設及び老人保健施設で勤務をしている。

障害者雇用については、幹部連絡会議等においてその趣旨及び浴風会の現状を説明し、法定雇用率の達成に努めた。その結果、今年度は法定雇用率（2.5%）を上回る2.6%という結果となった。

## ウ 効果的な広報活動の推進

ホームページの活用を通じ、各事業の活動状況や事業報告、財務諸表等の情報を迅速、かつ適切に発信した。併せて、浴風会誌や各施設・病院が発行する広報誌を通じ、広報・情報公開の徹底を図った。

## (2) 堅実な財務運営基盤の形成

適切な目標設定と目標利用率達成の努力  
目標利用率達成のために、老人福祉事業においては行政措置担当者が出席する会議への積極的な参加等を通じて、入所待機者の状況確認等に努めた。

介護保険事業においては、毎月「介護老人福祉施設入所検討委員会」を開催し、透明性・公平性を確保した迅速な入所に努めた。感染症の影響や退所者が例年よりも多い施設もあり、入所者の確保が思うように進まず、目標利用率に達することができなかった。

病院においては、近隣の医療機関、福祉関係施設等への空床情報の提供や転院調整システムの導入等により入院患者の増加に努めた。

居宅介護支援や訪問介護においては、職

員体制の強化やAIシステムの導入による業務の効率化等を図り、利用者の増加に努めた。

イ 予算執行管理の徹底とコスト意識の向上  
物価高騰等の厳しい社会経済情勢の中で、各事業部門においては、コスト意識を持って、節電や可能な経費の節約の工夫等に努めた。

ウ 病院及び老健くぬぎの経営基盤の安定化

## ア 病院

診療報酬について、経営刷新検討チームの検討の下で施設基準の上位取得、新たな各種加算の取得等を進めた。こうした努力により、入院・外来ともに、前年度実績を上回った。また、在宅医療については、特に訪問看護、訪問リハビリテーションにおいて、予算目標や前年度実績を上回った。当年度の収支差額においてはマイナスが生じたが、国の緊急的な補助事業も活用し、前年度の収支差額と比較すると改善が図られた。借入金償還の開始等により厳しい状況にあるが、引き続き経営基盤の安定化に努める。

## イ 老健くぬぎ

入所利用率の向上による経営改善に努めたが、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの発生、入院による退所者の増加、近隣特養への早期退所等により、年間利用率は予算目標を下回った。また、通所リハビリテーションについても入院や体調不良によるキャンセルの増加等により、利用率が伸び悩んだ。さらに、借入金償還の開始等により厳しい状況にあるが、引き続きサービス内容や送迎範囲の見直し・改善等を図り、経営基盤の安定化に努める。

(3) AI・ICT 機器やデータの活用 (DX) による業務の効率化と軽減

介護保険事業においては、ICT 通信環境を利用した見守り支援機器等の定着・活用を進めるとともに、AI等を活用した勤務表作成支援ソフトの導入等により、生産性の向上(業務負担軽減等)に努めた。

病院においては、転院調整システム(患者紹介ポータル)や健診予約システムの導入を行い、入院患者等の増加に努めた。

居宅介護支援事業においては、AIを活用したケアプラン原案作成システムを導入し、生産性の向上(業務負担軽減等)に努めた。

## 4 大規模災害への対策の徹底

今年度の総合防災訓練においては、近隣町内会との合同で「水消火器を使用した当訓練」「煙体験ハウス」を実施するなど工夫を凝らした訓練を行った。



また、病院においては、杉並区から医療救護所としての指定を受け、災害訓練を実施するとともに、杉並区西部地域災害医療連携会議、杉並区災害医療運営連絡協議会へ参加し、区内関係機関との情報共有を図った。

さらに、各施設においては、毎月それぞれに必要な防災訓練を実施するとともに、災害時の職員確保策に着眼したBCP(事業継続計画)の見直しや災害備蓄品等の点検・更新等を行った。

## 5 認知症介護の研究・研修の推進、認知症疾患医療センターの充実

認知症介護研究・研修東京センターにおいては、令和6(2024)年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための

認知症基本法」を踏まえて、共生社会の実現に寄与しうる各種研究・研修事業に取り組んだ。

研究・開発事業においては、認知症施策の推進に資するために、認知症ケアの質の向上に資する研究及び共生社会の実現を推進するための研究の2領域に焦点をあて、11テーマに関する研究を実施した。

研修事業においては、認知症介護指導者養成研修を3回実施し、同フォローアップ研修を1回実施するとともに、認知症地域支援推進員研修について新任者研修を7回(オンライン5回、集合2回)、同現任者研修を7回(オンライン5回、集合2回)の計14回実施した。

また、病院の認知症疾患医療センターにおいては、運営協議会をリモート形式で開催するとともに、東京都指定の「かかりつけ医認知症研修」及び「看護師認知症対応力向上研修」をオンデマンド形式とリモート形式で開催した。また、地域連携の推進に向けて、杉並区西部初期集中支援チーム情報交換会を当センター主催で開催した。

## 2 利用者中心のサービスの提供

### (1) サービスの質的向上及びリスクマネジメントの徹底

### (2) 自立支援・重度化防止に資するサービスの推進

上記(1)(2)の対応として、老人福祉事業においては、年1回利用者との面談の上、個別支援サービス計画の定期的な見直しを行った。また、随時の要望等の聴取、利用者全体会、食事懇談会、意見箱等による要望等の把握と対応を行った。老人福祉3施設間の交流クラブ活動として、陶芸クラブ、大正琴クラブ及び和太鼓クラブを実施するとともに、新たにスポーツ吹き矢クラブを

開始した。

介護保険事業においては、虐待未然防止の徹底、サービスマナーの向上、リスクマネジメントの徹底、転倒予防のための見守りカメラの活用、看取り介護の推進と医療連携ケアの向上、適切なケアマネジメントの提供、口腔機能維持・経口摂取維持の推進等多角的な取組みにより、個々の利用者に適切なサービスを提供した。

病院事業においては、アクシデント及びインシデントへの的確な対応による医療安全、感染対策向上加算の取得等による感染症対策の強化、防災訓練等の防災対策の徹底等により、安全管理を的確に推進した。

また、利用者・患者等からのサービスに係る苦情については、各々事業部門の苦情解決責任者が迅速かつ適切な対応に努めた。

## (3) 感染症予防対策の徹底

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症が断続的に発生していることから、以下のような感染予防対策に継続的に取り組んだ。

ア 利用者及び役職員への新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザに係るワクチン予防接種の協力促進  
イ 手洗い、手指消毒、マスク着用等基本的な感染症対策の協力促進  
ウ 病院及び施設の感染症発生時における家族等の面会の一部制限

## (4) かかりつけ病院機能の充実

医療連携室の強化による当院の地域での役割の向上、退院調整部門による訪問事業の案内、健診との連携等による対応の強化を図った。

## (5) 在宅高齢者等へのサービス提供の推進

地域包括支援センターによる総合相談、介護予防・生活支援サービスの提供、地域

ケア会議等地域包括ケアシステム推進の取組み、居宅介護支援、訪問介護、シルバーピア等における生活援助員（LSA）等において、体制の強化や業務改善等を図り、サービス提供量の増加に努めた。

病院においては、訪問診療、訪問看護及び訪問リハビリテーションの提供体制の強化等により、サービス提供件数が増加した。

### 3 専門職の連携を活かした職場づくり

#### (1) 事業部門相互での情報共有化の推進

老人福祉事業や介護保険事業においては、各種連絡会議等を通じてサービスの標準化に努めた。また、特別養護老人ホームと病院においては、病院・施設連絡会議を定期的に開催するとともに、両者の協働による「看取り介護」の推進や「医療連携ケア」の向上に努めた。

#### (2) 法人の特長を活かした人材確保の実施

優れた人材の確保と勤労意欲の向上を目的として行う登用試験（契約職員等の正規職員採用）については、従前の年 2 回の定期試験に替えて、所属長の推薦等を踏まえて必要の都度行う仕組みに改正した。

#### (3) 働き方改革への的確な対応

働きやすい職場づくり等のため、労働時間の考え方（指揮命令下にある時間等）や新入職員への適切な教育・研修、職員毎の業務量の偏りの改善、年次有給休暇・振替休日の適切な取得、超過勤務の縮減、ハラスメント防止研修の確実な受講等について、幹部連絡会議等を通じ周知徹底を図った。

#### (4) 実習生の受入れ促進及び研修制度の充実

大学、専門学校等から依頼された実習生の受入れについては、浴風園において 5 名、3 特養・グループホーム・在宅サービスセンターにおいて 387 名、病院において 36 名を受け入れ、それぞれの職種に応じた実習等によ

る指導を行った。

職員の研修については、全職種を対象とした職種横断階層別「悉皆研修」（ステップ 1～5）を全課程実施した。また、各専門職が学習機会の確保のために企画する研修について、WEB 研修の環境を整備し、職員の自由時間を活用した学習の機会を提供した。さらに、全職員を対象とする全体研修として、専門講師を招聘し、「高齢者虐待防止研修（148 名受講）」及び「ハラスメント防

止研修（144 名受講）」を実施した。また、各施設や病院においても、それぞれ職員に対する内部研修の実施や外部研修への職員の参加等に取り組んだ。

#### 4 地域との協働と社会貢献

地域貢献活動については、浴風会の各事業部門の経験や資源を活かし、地域とのネットワークなどを通じて、様々な行事やイベントを実施しており、コロナ禍の影響により自粛してきた活動も徐々に再開している。

具体的な事業としては、地域住民を対象としたミニ講座「よくふう学ぼう会」、コミュニティホールの地域開放、地元小中学校の福祉教育への講師派遣や花壇づくりの交流等多様な取り組みを実施した。10 月に実施した「浴風会つながるフェスタ」においては、全施設の職員の参加、浴風会全体の開放により、100 周年記念フォーラムや趣向を凝らしたプログラムを実施し、例年を上回る延べ約 1,350 人の地域の方々が来場した。

## 【令和 7 年度 決算報告】

6 月 8 日開催の当会理事会及び 6 月 29 日開催の評議員会において、令和 7 年度決算が下記の通り承認されました。

### (1) 貸借対照表の要旨

単位：千円

| 資 産 の 部 |            | 負 債 の 部      |            |
|---------|------------|--------------|------------|
| 科 目     | 金 額        | 科 目          | 金 額        |
| 流動資産    | 3,987,609  | 流動負債         | 1,769,468  |
| 固定資産    | 7,812,315  | 固定負債         | 3,111,492  |
|         |            | 負債の部合計       | 4,880,960  |
|         |            | 基本金          | 506,033    |
|         |            | 国庫補助金等特別積立金  | 3,609,811  |
|         |            | その他の積立金      | 891,827    |
|         |            | 次期繰越活動増減差額   | 1,911,293  |
|         |            | （うち当期活動増減差額） | △ 110,843  |
|         |            | 純資産の部合計      | 6,918,964  |
| 資産の部合計  | 11,799,924 | 負債・純資産合計     | 11,799,924 |

### (2) 総合資金収支計算書

単位：千円

| 区 分      |               | 収 入 額      | 支 出 額      | 資金収支差額   |
|----------|---------------|------------|------------|----------|
| 社会福祉事業   | 養護費           | 568,594    | 568,575    | 19       |
|          | 軽費            | 687,074    | 686,285    | 789      |
|          | 軽費ケアハウス       | 165,175    | 167,898    | △ 2,723  |
|          | 老人福祉事業計       | 1,420,843  | 1,422,758  | △ 1,915  |
|          | 特養南陽園         | 1,474,706  | 1,473,512  | 1,194    |
|          | 特養第二南陽園       | 818,066    | 807,740    | 10,326   |
|          | 特養第三南陽園       | 1,281,802  | 1,277,495  | 4,307    |
|          | 南陽園在宅サービスセンター | 50,632     | 50,554     | 78       |
|          | グループホームひまわり   | 112,571    | 111,646    | 925      |
|          | ヘルパーステーション    | 79,028     | 81,769     | △ 2,741  |
| 社会福祉事業   | 介護保険事業計       | 3,816,805  | 3,802,716  | 14,089   |
|          | 浴風会病院         | 3,165,161  | 3,165,625  | △ 464    |
|          | 老健くぬぎ         | 830,650    | 803,031    | 27,619   |
|          | 認知症介護研究研修センター | 714,252    | 689,679    | 24,573   |
|          | 本部経常部         | 1,142,780  | 510,463    | 632,317  |
| 社会福祉事業合計 |               | 11,090,491 | 10,394,272 | 696,219  |
| 公益事業     | 地域包括支援センター    | 58,665     | 63,968     | △ 5,303  |
|          | 居宅介護支援事業所     | 36,231     | 34,909     | 1,322    |
|          | ケアスクール        | 8,093      | 9,916      | △ 1,823  |
|          | 公益事業合計        | 102,989    | 108,793    | △ 5,804  |
| 収 益 事 業  |               | 22,487     | 118,691    | △ 96,204 |
| 総 合 計    |               | 11,215,967 | 10,621,756 | 594,211  |

### (3) 事業活動計算書の要旨（損益計算書）

単位：千円

| 区 分    |          | 収 益        | 費 用        | 税引前当期活動増減差額 |
|--------|----------|------------|------------|-------------|
| 社会福祉事業 | 社会福祉事業合計 | 10,337,902 | 10,340,035 | △ 2,133     |
|        | 公益事業     | 97,989     | 109,341    | △ 11,352    |
|        | 収 益 事 業  | 22,487     | 119,845    | △ 97,358    |
| 総 合 計  |          | 10,458,378 | 10,569,221 | △ 110,843   |

## 浴風会の動き

〔4月～6月〕

## 【本部事務局】

4月

1日 採用辞令交付式 15名

29日 天理教杉並支部構内美化  
(草取り) 協力

5月

1日 採用辞令交付式 3名

8日 富士見丘小学校写生会

6年生82名

21日 ジョージ・メイソン大学  
(アメリカ) 16名 施設見学

22日 苦情解決委員会

6月

1日 採用辞令交付式 2名

8日 監事による監査 実施

21日 第2回理事会を開催

8日 「令和7年度事業報告」、「令和7年度決算」、「定時評議員会の開催」、「業務執行理事の選定」、「幹部職員の人事」について承認。

10日 韓国住宅協会ヒュンダイ建設  
6名 施設見学18日 人事院初任行政研修受け入れ  
杉並つくしんぼ会施設見学

29日 第1回評議員会を開催

「令和7年度決算書」、「役員の異動」について承認。

「令和7年度事業報告」、「評議員退任に伴う評議員の選任」、「幹部職員の人事」について報告。

(戸塚)

## 浴風会ケアスクール

4月

1日 「介護福祉士実務者研修  
24期生」開講(受講生9名)1～2日 「悉皆研修・ステップ  
1」(職員新任研修)

5月

27日 「悉皆研修・ステップ3」  
(職員2年目研修)

6月

3日 「悉皆研修・ステップ3」  
(職員2年目研修)24日 「悉皆研修・ステップ4」  
(職員中堅1期)令和8年度、介護の資格講座「介  
護職員初任者研修」(8月18日開  
講・火曜日コース、10月5日開講・  
月曜日コース)申込みを付けて  
おります。介護の基礎からしっ  
かりと学べる講座です。  
詳細はホームページ「浴風会ケ  
アスクールのお知らせ」からもご  
覧いただけます。お気軽にお問合  
せください。(鈴木)

## 介護職員初任者研修

介護の資格の第一歩!はじめて介護を学ぶ方へ

\*基礎からしっかりと学べます\*

8月・10月開講受講生募集

●8月18日開講～12月8日修了  
週1回火曜日にスクーリング13回●10月5日開講～令和9年2月15日修了  
週1回月曜日にスクーリング13回

スクーリングと平行して通信添削課題があります

資格取得を応援する自治体の助成制度もあります

詳しくはお気軽にお問合せください

●浴風会ケアスクール

03-3334-2149 (平日9～17時)

E-mail:kenshuu@yokufuukai.or.jp

## 【老人福祉事業】

4月

8日 【高尾霊園参拝】

今年度は利用者33名、職員10名、バス3台  
での出発となりました。天気が良くて、皆  
さん思い思いに春の陽  
気を楽しんでいました。

この日は花まつりで

甘茶が無料で振舞われ

ていました。昼食後

道の駅に寄り買い物を

し、コーヒーやアイス

も楽しんでいました。

5月

4日～6日 【菖蒲湯】

女関人口部に、厳かな鍔兜を飾り、菖蒲の  
湯に浸かり、無病で健康をお祈りしました。

13日 【新茶会】

午後から新茶会を開催しました。鹿児  
島県知産の新茶の香りとお茶菓子を、  
皆でゆっくりと楽しみました。

6月

9日 【花壇整備】

雨が止んだ午後に富士見丘中学校の1  
年生90名が花壇の整備に来てくれまし  
た。雑草を抜いたり、土起こし等の作業  
を大勢で行いました。

13日 【花壇花植え】

富士見丘小、久我山  
小、高井戸小の小学生  
親子と富士見丘中の中  
学生、約50名で土起こ  
しやロープ張り、花植  
えを行いました。皆さんのご協力で色  
とりどりの花が、花壇  
一面に植え付けられました。

24日 【衣料展示会】

(張)



## 松風園 (軽費老人ホーム)

4月

21日 【誕生日会】

今年度最初の誕生日会を開催しました。  
4月生まれのご利用者と一緒に「あいた  
か」さんに食事に行きました。旬の食材  
を使った焼き物やお造り、釜飯など豪華  
な特別メニューを用意していただき、お  
いしい食事に楽しい時間を過ごしました。

5月

1日 【新茶会】

今年のお茶も鹿児  
島の知覧茶を用意し  
ました。渋みが少な  
くまろやかな味わい  
でお茶の良い香りが  
するお茶と、甘くお  
いしいお茶菓子を楽  
しました。お茶がとても好評で、皆様から「お代  
わり」との声をたくさんいただきました。

5日 【端午の節句】

今年も食堂前に兜を飾り、食事では柏  
餅を召し上がりました。お風呂も菖蒲湯  
で温まっていたいただき、無病息災をお祈り  
しました。

6月

2日 【梅ジュース作り】

松風園の梅を収穫  
し、ご利用者の皆様  
と梅ジュース作りを  
しました。へた取り  
や、梅・氷砂糖・お  
酢と一緒に瓶に詰め  
る作業を手伝って  
いただきました。完成した梅ジュ  
ースは納涼祭で皆様と  
飲む予定です。「納  
涼祭の楽しみが一つ増えた」と喜んで  
いらしていました。(河向)

## 浴風会ケアハウス

4月

8日【お花見弁当】

お花見弁当は、彩り豊かで目でも楽しめるものでした。おいしかったと好評でした。

5月

1日【端午の節句】

端午の節句にちなんので、昼食はかつおのたたきで、例年どおりおかわり自由でたくさん召し上がって頂きました。

14日【新茶会】

新茶会を行いました。新茶の香りと味わいを楽しんでいただきました。

29日【30周年開園記念】

ケアハウス30周年開園記念を行いました。大ホールで海鮮丼、ローストビーフサラダ、漬物、汁物、ケーキバイキングに記念品付でお祝いをしました。

6月

10日【国際交流】

アメリカカウイスコンシン州から来日された高校生による弦楽器の演奏会がありました。英語を交えながら積極的にお話をされる入居者の方々もいらして、良い相互交流の場となりました。



◆令和8年度の入居説明会は定員となり、募集は終了しております。多くのお問い合わせを頂き、ありがとうございます。

(柴田)

## 【介護保険事業】

## 南陽園（特別養護老人ホーム）

4月

1日【新入職員】

今年度も南陽園に3名の新入職員が加わりました。新しい仲間を迎え、より一層充実した支援を行ってまいります。

初旬【お花見】

園庭の桜が今年も見事に咲き誇り、お花見に出かけることができました。春の陽だまりの中、皆さま笑顔で観桜を楽しまれました。

5月

4日・9日【菖蒲湯】

季節の行事として菖蒲湯を実施しました。菖蒲の香りに包まれながら、ゆったりと湯船につかれ、心身ともにリラックスされた様子でした。



24日【新茶会】

茶娘が新茶をお注ぎし、添え菓子とともににお楽しみいただきました。皆さま嬉しそうに味わわれ、和やかな時間となりました。

31日【南陽園祭り】

1日の開園記念日に合わせ、5月31日（日）に「南陽園祭り」を園全体で開催しました。当日は快晴に恵まれ、屋外にはかき水や綿あめの屋台、屋内にはヨーヨー釣りや射的コーナーを設け、ご利用者・職員ともに笑顔が溢れていました。



ボランテアによる太鼓演奏も大変好評で、一緒に太鼓を叩くご利用者もいらっしゃいました。

6月

21日【デザートバイキング】

色とりどりのデザートの前に、「全部食べたいわ、迷っちゃう。」と楽しそうに選ばれた姿が見られ、皆さま満足そうに召し上がられていました。

(宮岡)

## 南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

4月【お散歩・手工芸】

会内の中庭には様々な花が咲いています。桜やまぶき、チューリップ、パンジー等々、天気の良い日には皆様に花の名前を教えていただきながら、散歩を楽しみました。

手工芸では、季節の花の壁飾りを紙工作しています。今月は「藤の花飾り」。とても素敵な作品が出来、活動室に飾らせていただきました。



5月

4・9日【菖蒲湯】

無病息災を願い、しょうぶ湯を行いました。

5日【端午の節句】

端午の節句では、新聞紙を使ってかぶとを折り、皆様並んで記念撮影。素敵な笑顔が見られました。

6月【運動】

ジメジメした日が続いています。そんな日こそ体操やゲームで気分転換。身体を動かして体力づくりに励みました。



中にはお疲れなのか、うたた寝や応援に回られる方もいらつやいましたが、皆様のペースに合わせてご参加いただいています。

※デイサービスご利用を検討中の方は、ぜひお気軽にお問合せ下さい。見学も随時お受けしております。

【電話】03-3334-2743

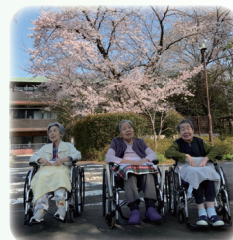
(友部・山崎)

## 第二南陽園（特別養護老人ホーム）

4月【お花見】

新年度を迎え、

施設内の花々も色鮮やかに咲き始めています。お花見で園庭へ散歩に出かけて満開の桜を楽しみました。



5月

2・5日【菖蒲湯】

菖蒲の爽やかな香りに包まれながら、季節の風習を楽しんでいただきました。

11・13日【新茶会】

お楽しみ企画の一環として、男性職員がお茶娘に扮して皆さまにお茶をお配りしました。和菓子と一緒に新茶をいただき「新茶はとっても美味しいね」「お茶とお菓子（菖蒲の花の練りきり）が合っているね」と大変好評でした。

6月

10日【フルーツバイキング】

きれいに盛り付けされた果物をたくさん召し上がっていただきました。「スイカが食べたい」「マンゴーが甘いわね」と華やかなおやつ時間を過ごしました。

17日【クッキング☆カフェ】

施設で収穫した杏を使ってジャム作りを行いました。完成した杏ジャムはホットケーキに添えて皆さまで召し上がりました。「甘酸っぱくておいしい」と好評でした。



(仁司)

## 第三南陽園(特別養護老人ホーム)

## 4月【さくら祭り】

今年は1階のリハビリ室を期間中開放し、室内を色鮮やかな桜で飾り付けました。入り口に手作りの桜の花びらを用意



したところ、来園した皆様も飾り付けに協力してくださり、日を追うごとに見事な桜が広がっていききました。

室内とは思えないほど風情ある空間のなか、皆様お弁当やお茶を手に、ゆったりとお花見のひとつときを過ごされました。

## 5月【菖蒲湯・新茶会】

今年はたくさんさんの菖蒲を贅沢に使用し、浴室いっぱい心地よい香りが広がりました。ご利用者の皆様もリラックしながら入浴を楽しみました。

「新茶会」では、恒例の茶娘が登場。お茶好きなご利用者から美味しい淹れ方のコツを教わりながら、新茶を振る舞いました。「とても良い香りね」とのお声も聞かれ、皆様大喜びされました。

## 6月【フルーツバイキング】

メロンやパイナップルなど、色とりどりのフルーツをバイキング形式で提供しました。「こんなにたくさん食べていいの？」と歓声が上がりました。皆様好きなフルーツを自由に選びながら、賑やかで楽しい時間を満喫されました。



(佐々木)

## グループホームひまわり

## 4月【開設24周年】

グループホームひまわりは開設24周年を迎えました。日頃の感謝を込め、皆さまと紅白饅頭でお祝いし、穏やかなひとときを過ごしました。

## 5月

## 5日～6日【菖蒲湯】

菖蒲湯にて無病息災を願い、季節の風習を感じていただきました。5日にはかしわ餅も召し上がり、端午の節句を和やかに祝いしました。

## 7日【玉ねぎ収穫】

テラスで育てた玉ねぎの収穫を行いました。「まことたかいど保育園」の子供たちをお迎えし、元気な声に包まれながら、一緒に収穫の喜びを分かち合いました。世代を超えた交流に、自然と笑顔が広がっていました。



## 10日【つつきよう漬け】

毎年恒例のつつきよう漬け作りを行いました。皆さま手慣れた様子で季節の手仕事に取り組まれていました。

※過ごしやすい季節となり、外出支援も充実しています。

神代植物園での散策や、展望レストランでの外食など、ご家族の皆さまにもご参加いただき、思い出に残る時間を重ねています。

(阿部)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

4月

8日 上高井戸端※1

9日 きずなサロン かりん

15日 スマホサロン

24日 ロビーカフェ

25日 パークハウス講座

28日 からだケア体操

5月

12日 いちの会

13日 上高井戸端※1

19日 男性の居場所

20日 スマホサロン

22日 ロビーカフェ

26日 からだケア体操

29日 富士見ヶ丘中地域教育連絡協議会

6月

10日 上高井戸端※1

11日 きずなサロン かりん

16日 高井戸小認知症サポーター養成講座

17日 男性の居場所

19日 スマホサロン

23日 ケアマフの会

26日 からだケア体操

ロビーカフェ

※1・・・地域の多世代交流

(横山)

【病院事業】

浴風会病院

現在、杉並区・世田谷区・中野区の区民健診、協会けんぽ、一般健診等のご予約を受け付け中です。

骨密度検査や動脈硬化検査、胃がんリスク検査などのオプション検査も併せてお申し込みいただけます。

お申込みまた

はオプション検査の料金等、詳細については浴風会病院健診センターまでお問い合わせください。

(代表電話 03-3333-6511)

(浴風会病院協会けんぽ健診予約担当)

ご芳志

令和8年4月～6月

多くの方々よりご芳情を頂きました。ありがとうございます。

〈金品・物品〉

◇ 狩野 治男様

◇ 菌田 博子様

ほか、各施設にもいただいております。

7

## 老健くぬぎ (介護老人保健施設)

## 4月【春の訪れ】

毎年春が来ると二階バルコニーにやって来る鴨の夫婦が今年もやって来ました。プールと餌を用意しておく嬉しそうに水遊びして餌を沢山食べていきます。その様子を見てご利用者の皆さんも大喜びです。綺麗に咲いた色とりどりの花も春を感じさせます。



## 5月【新茶会】

新茶会は職員が茶娘の衣装を着て新茶と和菓子をお配りしました。新茶の香りに誘われて皆さん沢山お代わりされていました。中には「和菓子のお代わりは出来ないの？」と仰る方もいましたが、ごめんなさい和菓子はお一人につき一つまでとなっております。

## 6月【ボランティア演奏会】

ボランティア演奏会はウクライナから来た方がウクライナの民族楽器『バンドウーラ』を演奏してくださいました。上手な日本語で歌う「上を向いて歩こう」や「川の流れるように」といった名曲の数々に皆さんうっとり。アンコールではアカペラで「故郷」を歌ってくださいり大合唱となりました。



★ご利用のご相談など、お問合せは随時受け付けております。相談員までお気軽にご連絡ください。

◎03-5336-7701 【代表】  
◎03-5336-7734 【入所】

(辰巳)

## 【研究・研修他】

## 認知症介護研究・研修東京センター

## 4月

1日 新採用等辞令交付式 東京センター1名(主任研究主幹)

3日 関東信越厚生局 新規採用職員視察

6日 東京センター研究推進会議

20日 東京センター運営会議 well-being 担当者会議 (Zoom、3センター(東京、仙台、大府))

## 5月

7日 関東信越厚生局地域包括ケア推進課との打合せ(今年度のセミナー等について)

14日 杉並区との打合せ(連携協定による)(認知症ワーキンググループとして意見交換)

18日 東京センター研究推進会議

老健局認知症施策推進課との打合せ(認知症介護研究・研修センターの研究等について)

21日 杉並区との打合せ(連携協定による)(今年度の取組など)

23日 令和8年度全国認知症介護指導者ネットワーク研修会

29日 東京センター運営会議

## 6月

1日(12日) 令和8年度 第1回認知症介護指導者養成研修(前期)

16日 令和8年度第1回認知症介護研究・研修センター 研究部長会議 (Zoom、3センター(東京、仙台、大府))

19日 24日 内部研修(コンプライアンス研修・①個人情報保護法改正、②倫理審査他)

2422日 東京センター運営会議

東京センター3部長会議

(竹井)

## 浴風会フォトギャラリー

浴風会の動きでは紹介しきれなかった、素敵なお写真をご紹介いたします。



《次回は発行予定令和8年10月秋季号》  
〒168-8510※住所なしで届きます  
機関紙「浴風会」編集部係  
soumu2@yokufukai.or.jp  
<https://www.yokufukai.or.jp/>